

2017年3月期 第2四半期

決算概況

JKホールディングス株式会社 (9896)
代表取締役社長 青木 慶一郎



2016年11月28日



スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co.,Ltd.

1. 平成29年3月期第2四半期は、売上高1,657億円、営業利益18億円、経常利益17億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億53百万円になりました。
2. 経済環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行、資本効率の向上及び株主還元の充実を図ることを目的とし、当社は当第2四半期会計期間において、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、669,200株を自己株式として取得いたしました。
3. 配当につきましては、業績に対応した配当を基本方針としており、平成29年3月期中間配当は1株当たり7円を実施いたします。期末配当につきましては、1株当たり8円を予定しており前年同様年間15円の配当を実施予定であります。

J Kホールディングス(株)について 4ページ

(1) 会社概要	5
(2) 事業概要と主なグループ企業	6
(3) J K木構造・木質化グループ	7
(4) グループ中核企業ジャパン建材の事業紹介	8
(5) ジャパン建材フェアの様子	9
(6) P B 商品Bullsの販売状況	10

2017年3月期第2四半期決算概要 11ページ

(1) 事業環境 - 合板市況と為替レート推移	12
(2) 業績サマリー	13
(3) 業績の推移	14
(4) 事業別の売上高・営業利益推移	15
(5) 主要連結子会社の業績推移	16
(6) 販管費増減明細	17
(7) 連結B/S、キャッシュ・フローの状況	18

補足資料 19ページ

(1) ジャパン建材(株)新たな取り組み (J Kエンジニアリング課)	20
(2) ジャパン建材(株)新たな取り組み (リフォームDEPOT)	21
(3) J K木構造・木質化グループの取り組み	22
(4) 福島県の復興支援	23

J Kホールディングス(株)について

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

「快適で豊かな住環境の創造」を企業理念に掲げ、日本の住環境を少しでもよくするため、すべてのお客様に貢献することを目指しています。

特に、商売上ではお客様が儲かってこそ我々も初めて儲かるという観点から、「すべての取引先のお役に立つ事を目指す」をモットーに、共存共栄の精神で経営に当たっています。社内研修でも会長をはじめ、役員が必ず講義の時間を持ち、社員に対して経営理念の共有化を心掛けています。

基本情報（2016年9月30日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 13社
従業員数	2,574名		② 合板製造・木材加工事業 9社
			③ 総合建材小売事業 28社
			④ その他 16社

(2) 事業概要と主なグループ企業

住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社に、住宅関連企業をグループ傘下に展開する純粋持株会社です。

(2016年9月30日現在)

総合建材卸売事業

ジャパン建材(株) (株)KEY BOARD
通商(株) クロカワベニヤ(株)
JKI(株) (株)マルキユウ銘木
(株)ミトモク (株)銘林
物林(株) 他 非連結子会社 4社

合板製造・木材加工事業

(株)キーテック 北海道プレカットセンター(株)
日本パネフォーム(株) (株)宮盛
秋田グルーラム(株) (株)群馬木芸
(株)プレックコンポーネント (株)アイチキャビネット
他 関連会社 1社

総合建材小売事業

(株)マルタマ (株)ブルケン東日本
(株)キタモク (株)COMFILL
INTERRA Japan(株) (株)ハウス・デポ・プラス
(株)ハウス・デポ関東 他 非連結子会社 8社
トップ建材(株) 関連会社 12社



その他

建設工事業

(株)エムジー建工 (株)ハウスデポ・セキ
JKホーム(株)
(株)ブル・エンジ 他 関連会社 1社

倉庫及び運送業

(株)JK CARGO インテラUSA社
(株)ジェイケー物流 他 非連結子会社 3社

資材取次業

フランチャイズ事業

(株)ハウス・デポ・ジャパン JKスマイル(株)

旅行・保険代理業

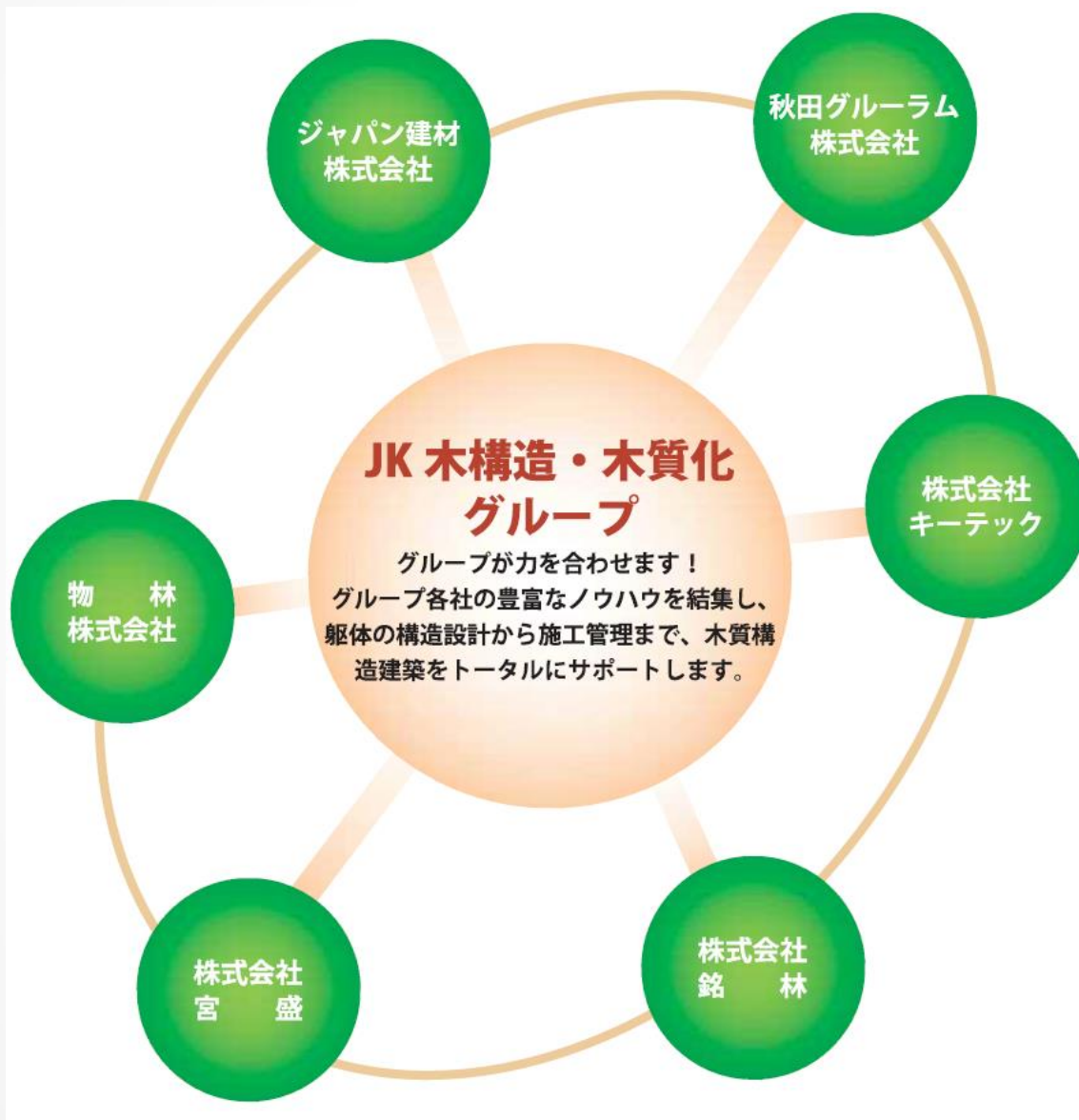
住宅ローン仲介業

(株)ハウス・デポ・パートナーズ ジャパン建材沖縄(株)

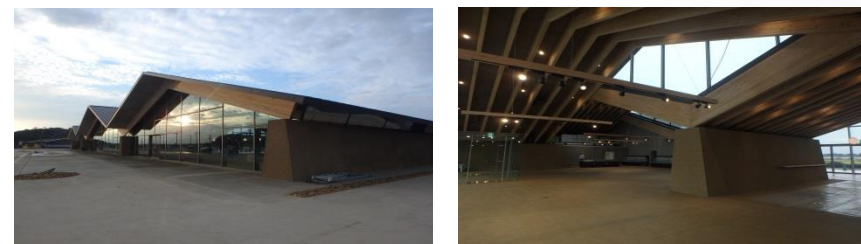
不動産賃貸業

(3) JK木構造・木質化グループ

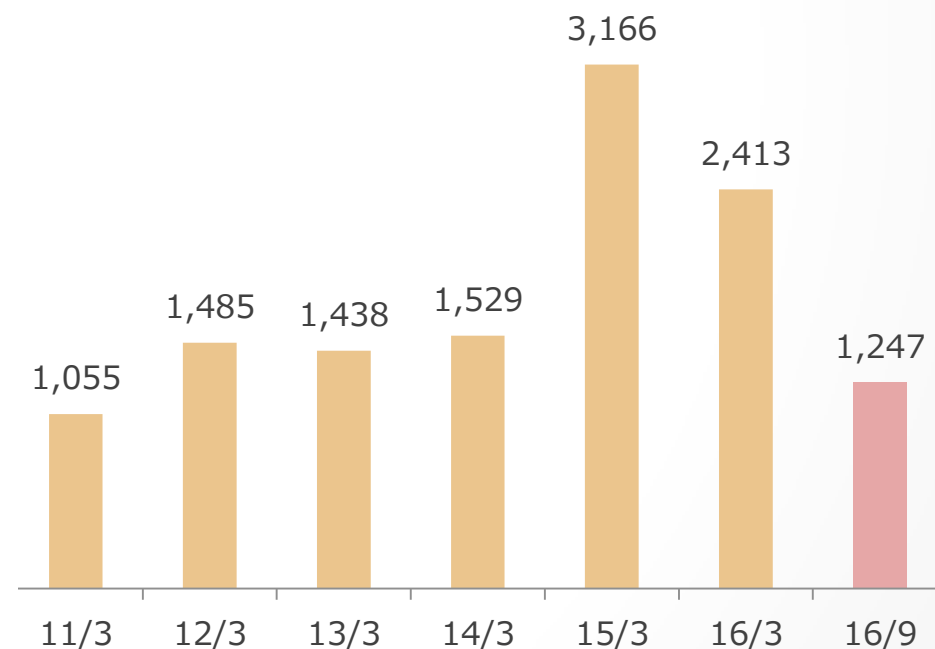
今期は、一昨年と同様に大型物件の受注があり、2015年3月期の売上高前後を見込んでいる。



施工事例（道の駅ましこ様）



完了物件 売上高



(単位：百万円)

(注) 2016年3月期以降は、(株)銘林が加わったことにより、内装工事も含まれております。

(4) グループ中核企業ジャパン建材(株)の事業紹介

ジャパン建材(株)は一軒の住宅を建てるために必要とされる、さまざまな部材・資材の販売（卸売）を主な事業内容としています。



- ・ **素材**
合板・木材・石膏ボード・断熱材
- ・ **外装・サッシ**
外壁材・屋根材・サッシ・玄関ドア・エクステリア
- ・ **内装材**
床材・建具・収納・階段
- ・ **水廻り**
キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ
- ・ **省エネ機器**
太陽光発電・蓄電池・HEMS・エコキュート



(5) ジャパン建材フェアの様子

毎年東京ビッグサイトにて年2回開催される当社最大のイベントで業界最大規模の展示即売会である。第36回の展示会は8月26日・27日に行い、「住まい方・暮らし方-Road to 2020-」をテーマに掲げ、2020年に始まる「省エネルギー基準の適合義務化」に向けて会場作りやセミナー等を行いました。

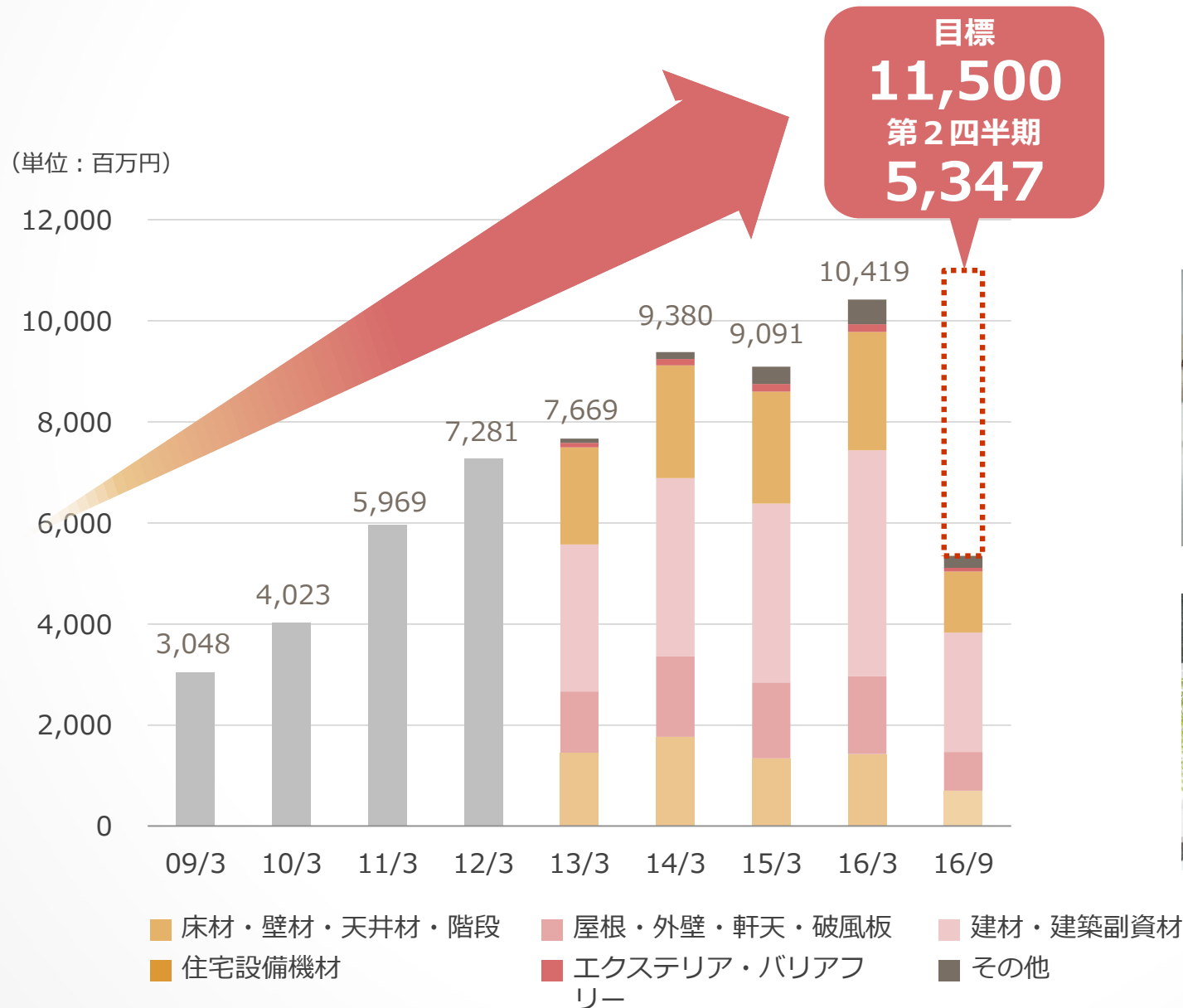
	第33回 ジャパン建材 フェア (15年3月)	第34回 ジャパン建材 フェア (15年8月)	第35回 ジャパン建材 フェア (16年3月)	第36回 ジャパン建材 フェア (16年8月)
売上実績 (計画比) (単位：百万円)	49,400 (99.8)	51,700 (104.4)	51,600 (101.2)	52,700 (101.5)
動員実績 (計画比) (単位：人)	24,643 (102.7)	24,522 (100.0)	25,149 (102.6)	25,084 (100.0)

(注) () は対計画比



(6) PB商品Bullsの販売状況

平成27年度は新商品の発売によって断熱材や透湿シートの販売を拡大した。
今期は引き続きジャパン建材の強みである基礎資材に注力し、今後普及が見込まれるZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）住宅に関わる照明・サッシ・屋根・断熱材に力を入れていきます。

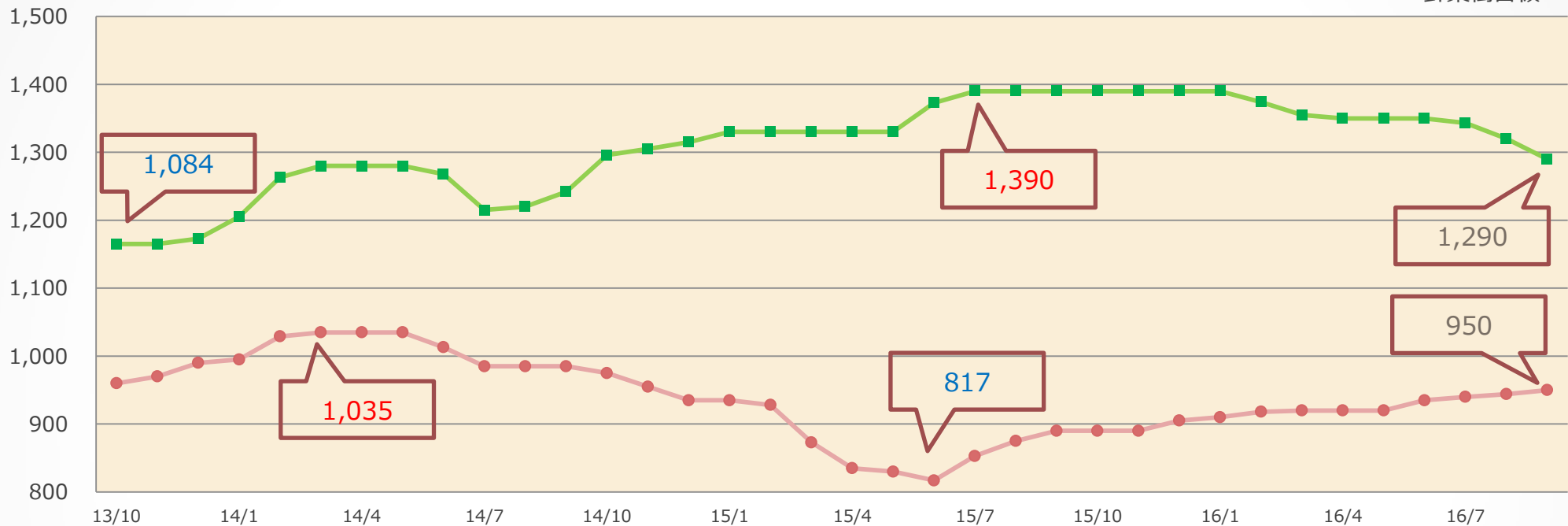


2017年3月第2四半期 決算概要

(1) 事業環境 - 合板市況と為替レート推移

(単位：円)

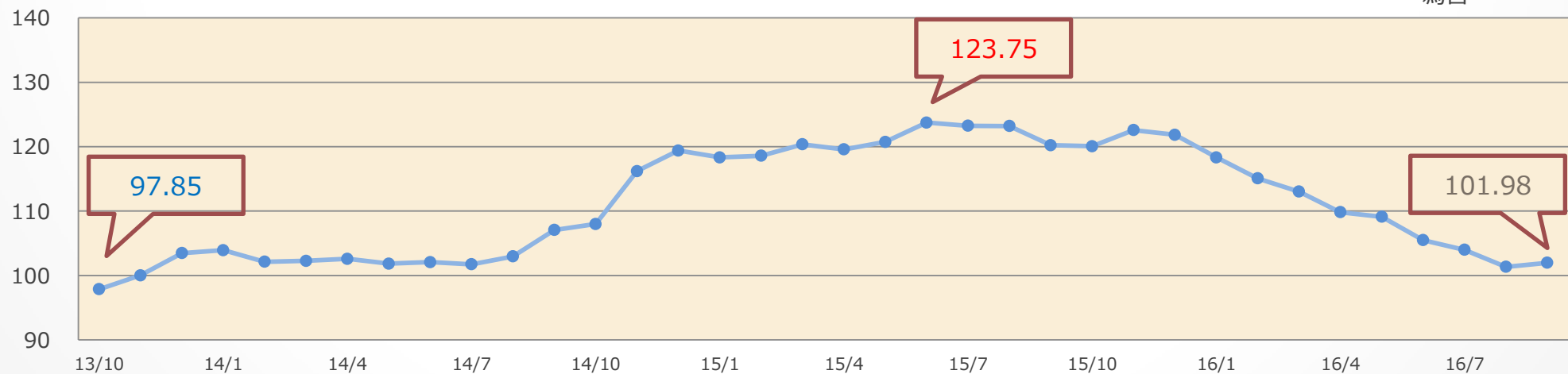
合板市況



(注) NIKKEI 東京価格を参照

(単位：円)

為替レート



(注) 三菱東京U F J 銀行 公表相場TTM平均金額を参照

(2) 業績サマリー

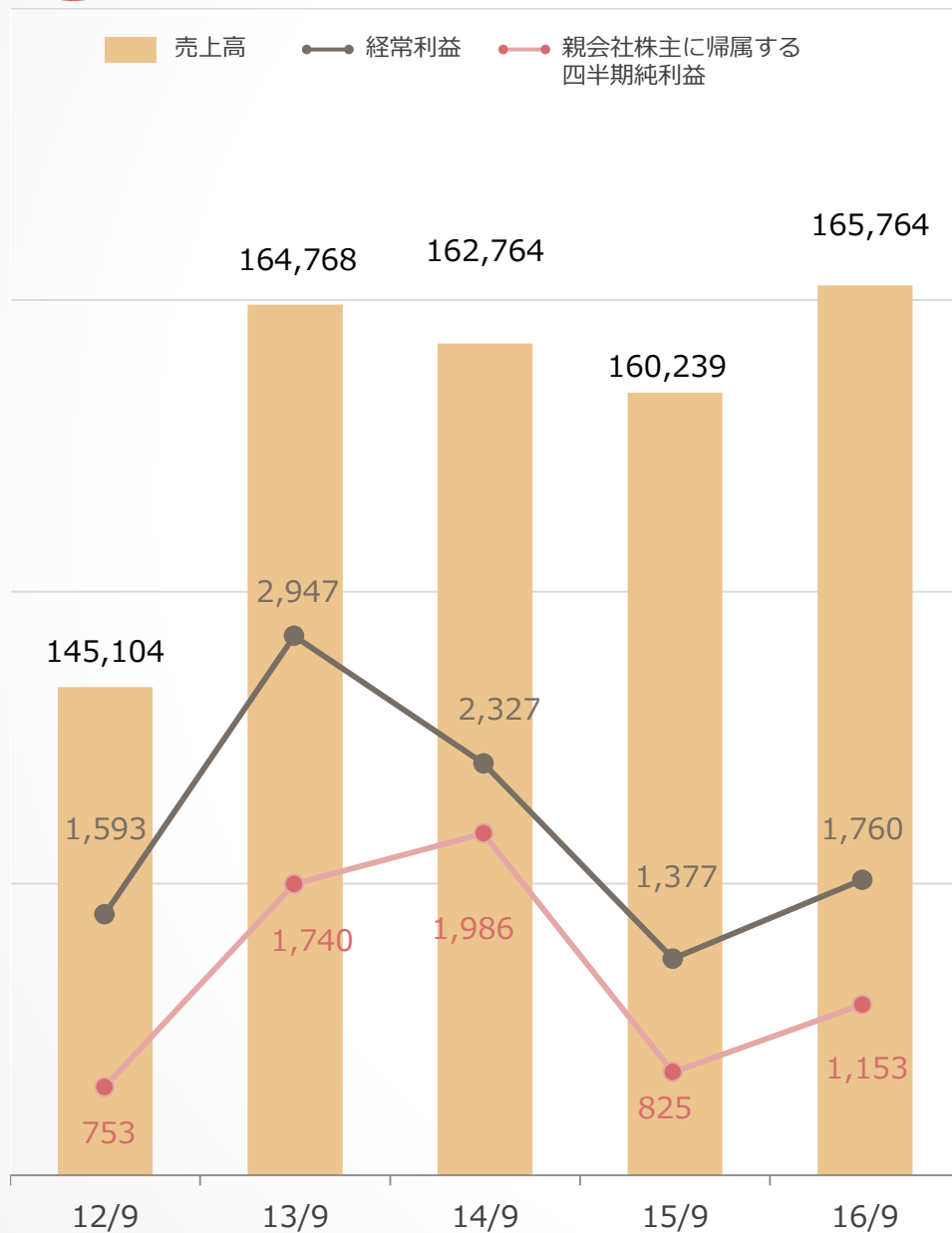
■売上高	165,764百万円	:	前期比	3.4%増
■営業利益	1,861百万円	:	前期比	23.5%増
■経常利益	1,760百万円	:	前期比	27.8%増

(百万円)	17年3月期			16年3月期	増減比率 (%)	17年3月期		16年3月期
	第1四半期 実績	第2四半期 実績	上期 実績	上期 実績		上期 計画	通期 計画	通期
売上高	81,091	84,673	165,764	160,239	3.4	166,000	340,000	330,280
売上総利益	7,875	8,305	16,180	15,068	7.4	-	-	31,452
売上高総利益率(%)	9.7	9.8	9.8	9.4	-	-	-	9.5
営業利益	740	1,121	1,861	1,507	23.5	2,100	4,600	4,088
営業利益率(%)	0.9	1.3	1.1	0.9	-	1.2	1.3	1.2
経常利益	666	1,093	1,760	1,377	27.8	1,900	4,300	3,887
経常利益率(%)	0.8	1.3	1.1	0.9	-	1.1	1.2	1.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	513	639	1,153	825	39.7	1,100	2,500	2,343
四半期純利益率(%)	0.6	0.8	0.7	0.5	-	0.6	0.7	0.7
EPS (円)	16.3	20.3	36.6	26.2	-	34.5	78.5	74.4
DPS (円)	-	7.0	7.0	-	-	7.0	15.0	15.0
ROE (%)	-	-	-	-	-	-	-	7.4

(3) 業績の推移

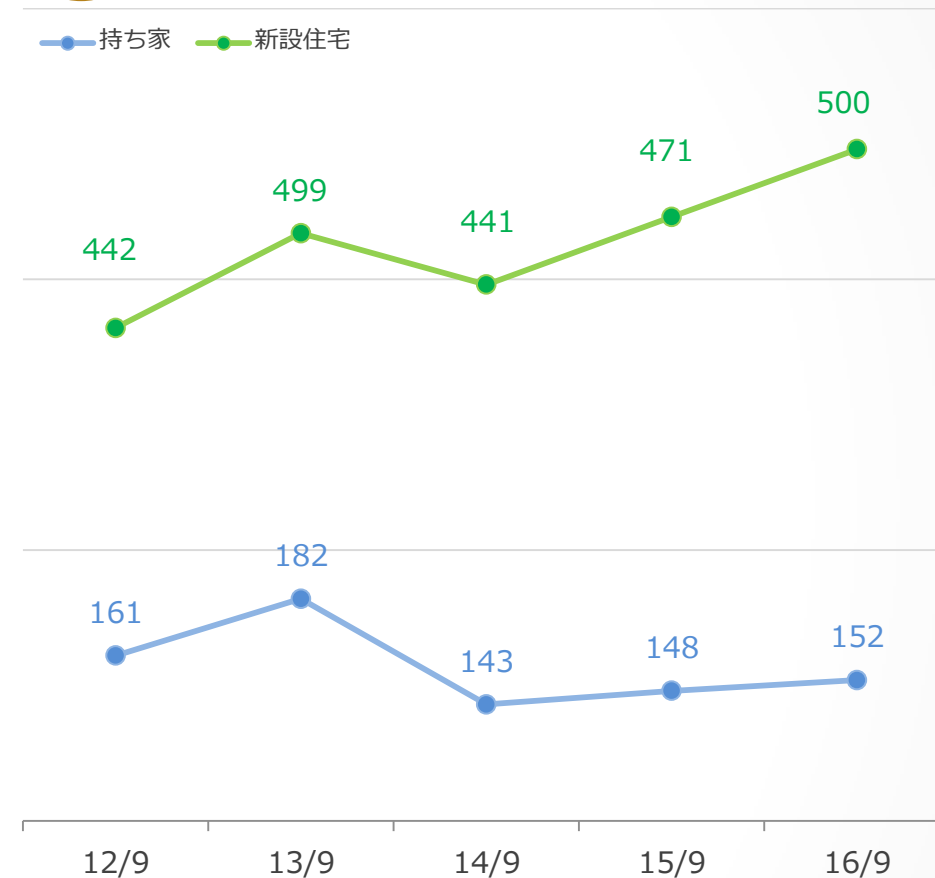
業績

(単位：百万円)



住宅着工

(単位：千戸)

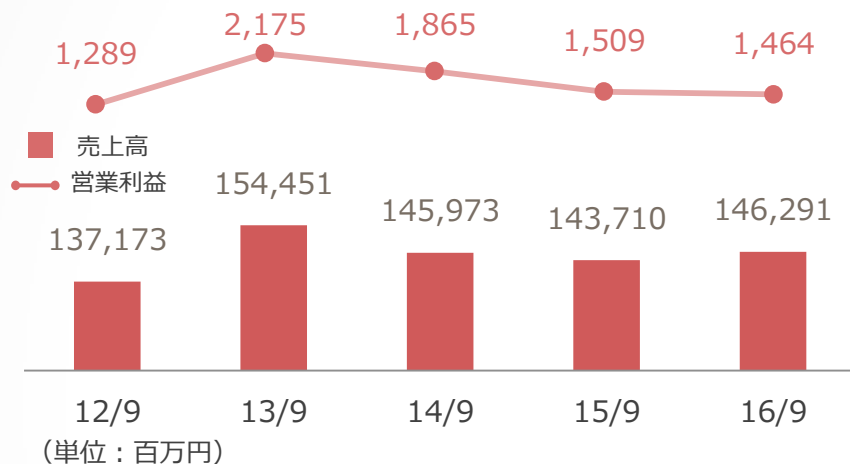


(千戸)	通期				
	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3(予想)
新設住宅着工戸数	893	987	880	920	944
持ち家住宅着工戸数	316	352	278	284	303

(4) 事業別の売上高・営業利益推移

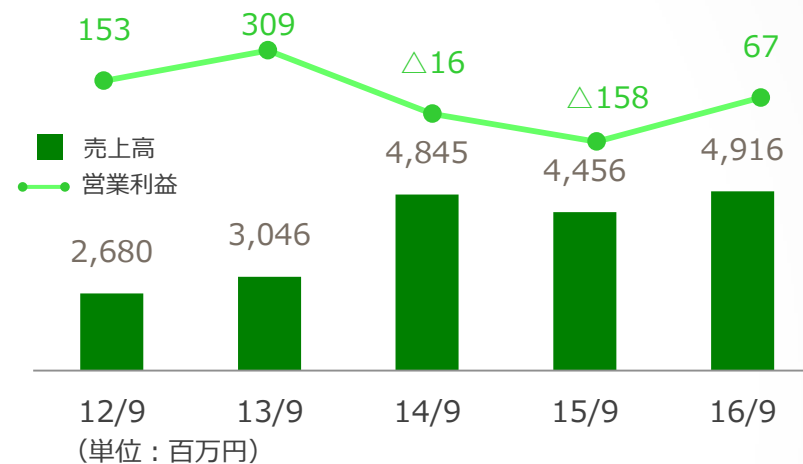
① 総合建材卸売事業

建材、住器機器等の住宅建材については、総じて市場の伸びと同程度の拡大を図ることができたが、合板の需要への対応に難しい舵取りが求められ、特に利益面で苦戦した。



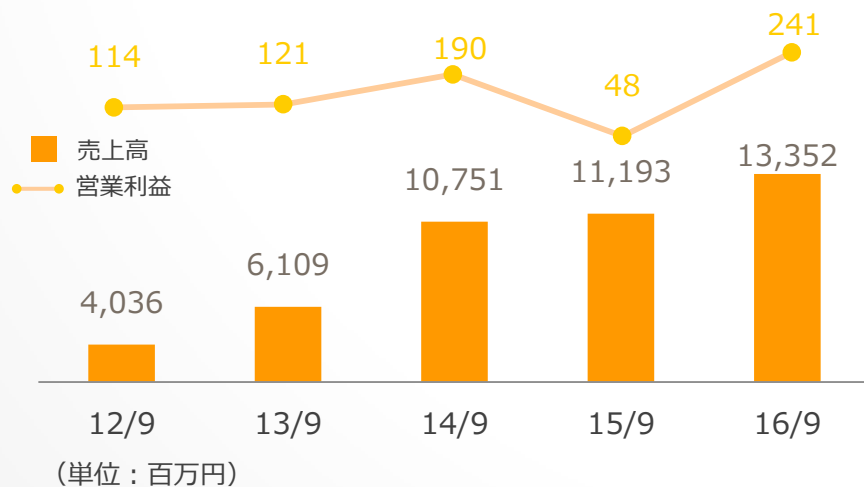
② 合板製造・木材加工事業

合板製造は、原木のコストアップ分の価格転嫁に引き続き苦戦したものの、LVLが好調を維持し増収増益で推移した。木材加工事業も総じて増収増益基調で推移した。

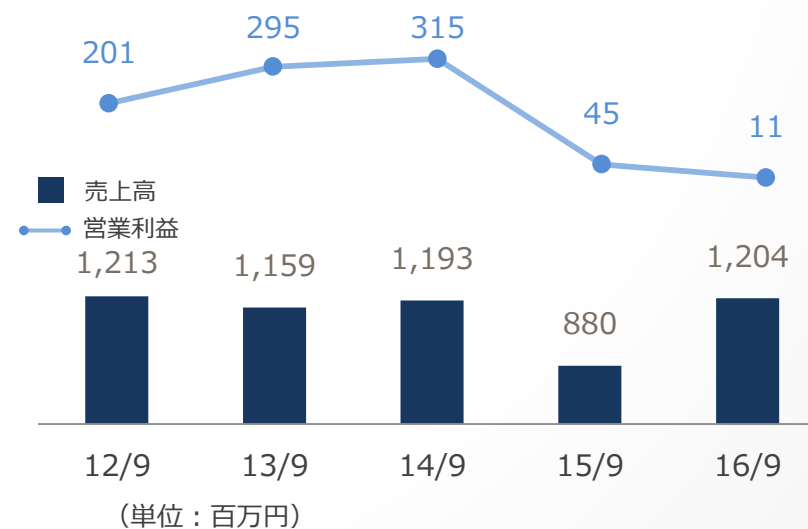


③ 総合建材小売事業

統合等により規模が拡大し売上げ増加。採算面も大きく改善できた。

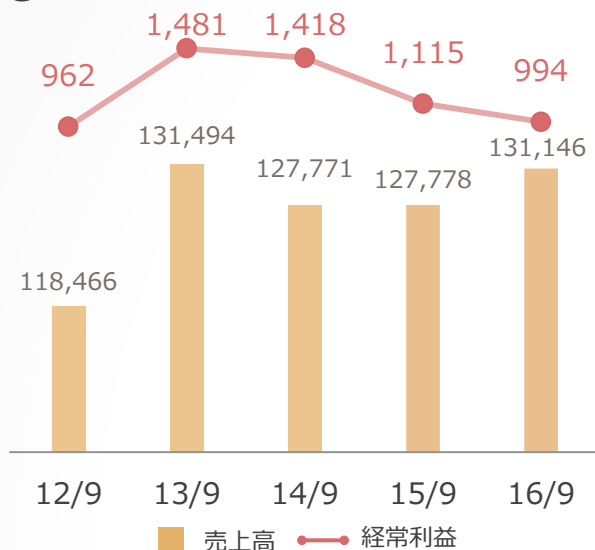


④ その他



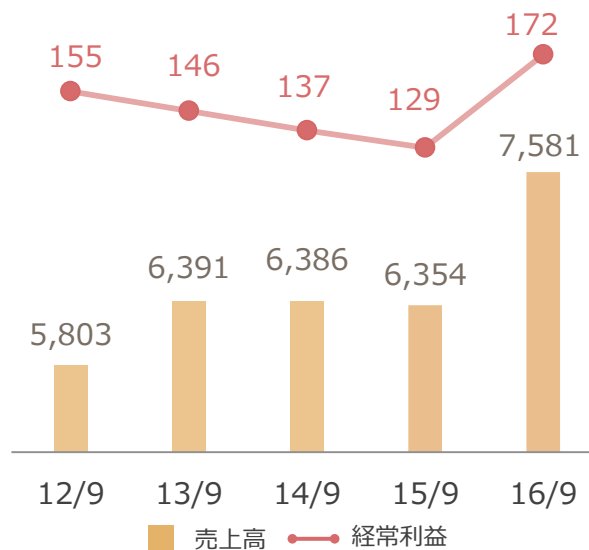
(5) 主要連結子会社の業績推移

① ジャパン建材(株)



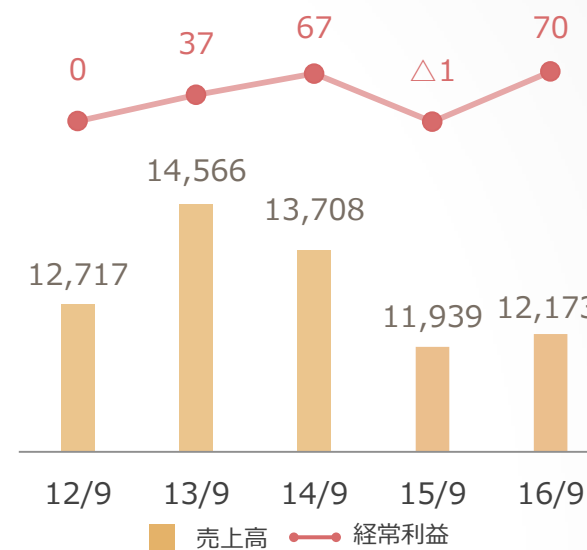
(単位：百万円)

② 通商(株)



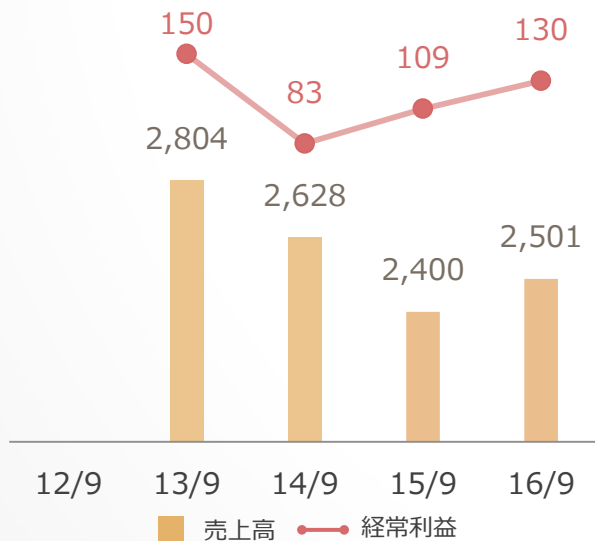
(単位：百万円)

③ 物林(株)



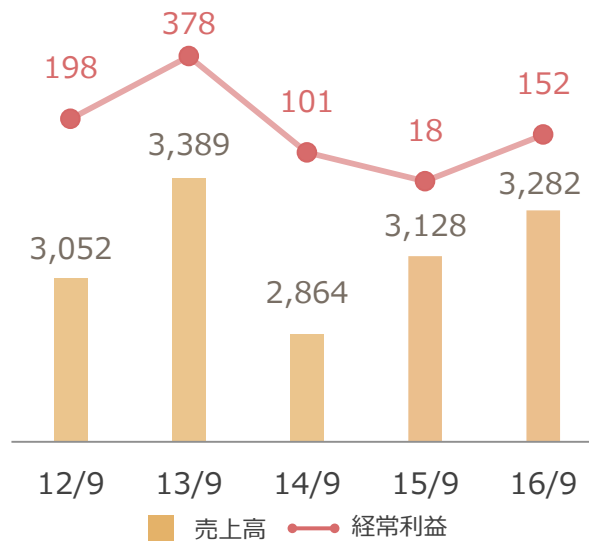
(単位：百万円)

④ (株)銘林



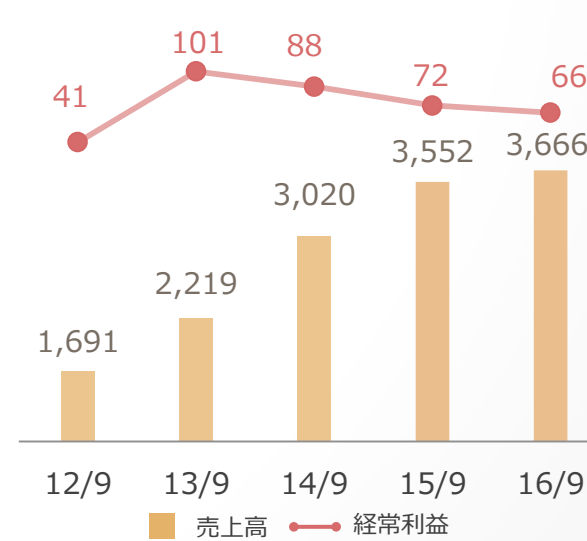
(単位：百万円)

⑤ (株)キーテック



(単位：百万円)

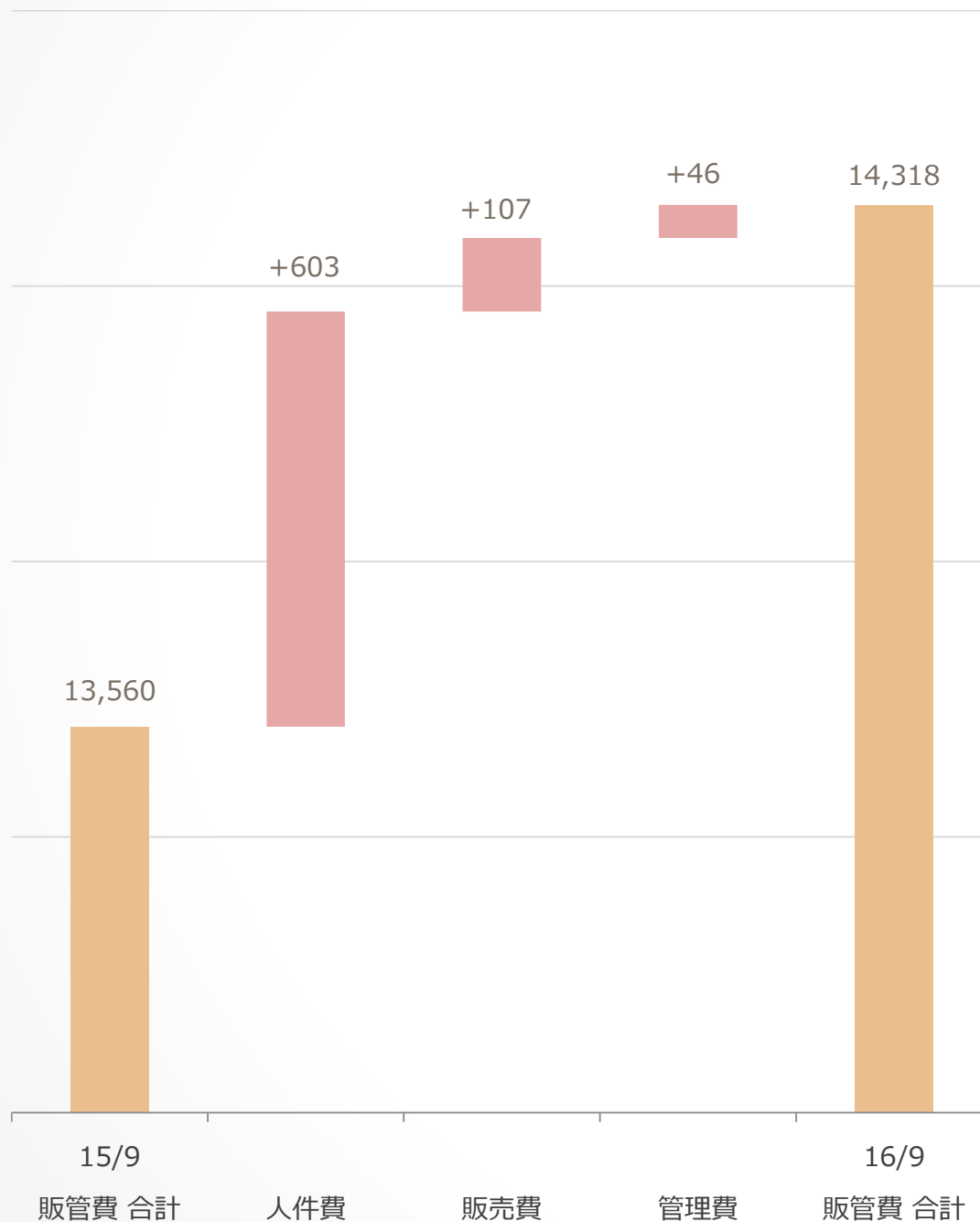
⑥ (株)HD関東



(単位：百万円)

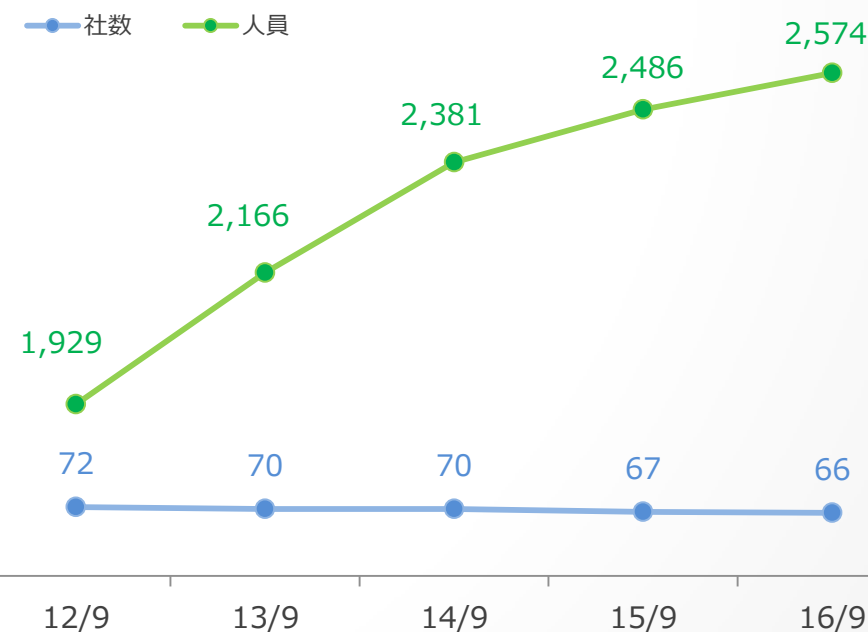
(6) 販管費増減分析

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	主要販管費増減内訳		
	70期②Q	71期②Q	増減比率
人件費	7,525	8,129	8.0%
販売費	3,357	3,464	3.1%
管理費	2,677	2,724	1.7%
合計	13,560	14,318	5.5%



(7) 連結B/S、キャッシュ・フローの状況

貸借対照表

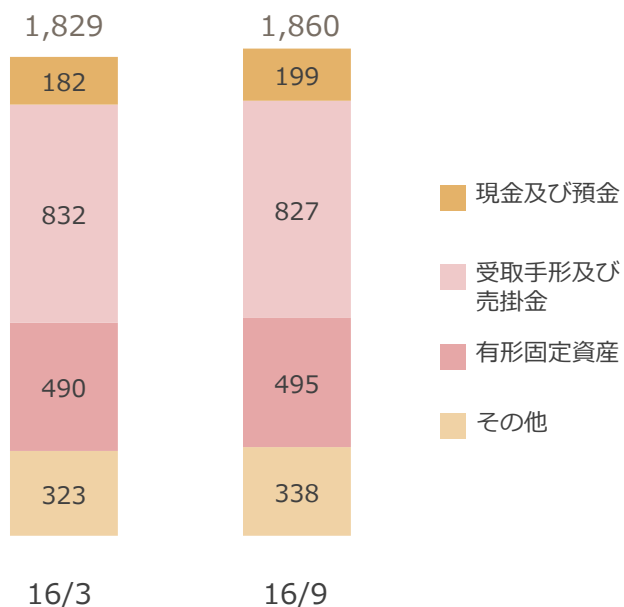
流動比率 (倍)



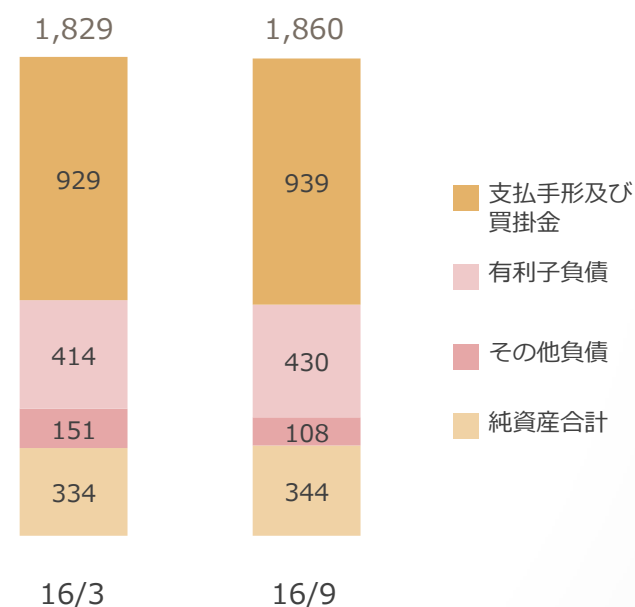
自己資本比率 (%)



資産



負債・純資産



(単位：億円)

補足資料

2016年4月よりトイレ取替や給湯器取替、エアコン設置、太陽光発電システムなど工事の多角化を図っている。上期は、首都圏や中部圏、関西圏の主要都市部の展開が終わった。下期は、その他の都市部の展開を図り、全国対応を目指す。

ビジョン

- ・全国縦断の安全安心&高品質の施工ネットワーク構築
- ・新需要領域へのアプローチ
- ・全社連携での強力な販売体制の確立
- ・新しい営業スタイル (商材+施工) の創造
- ・身近で頼りがいのある JKエンジニアリング作り

工事対応力



施工ネットワーク

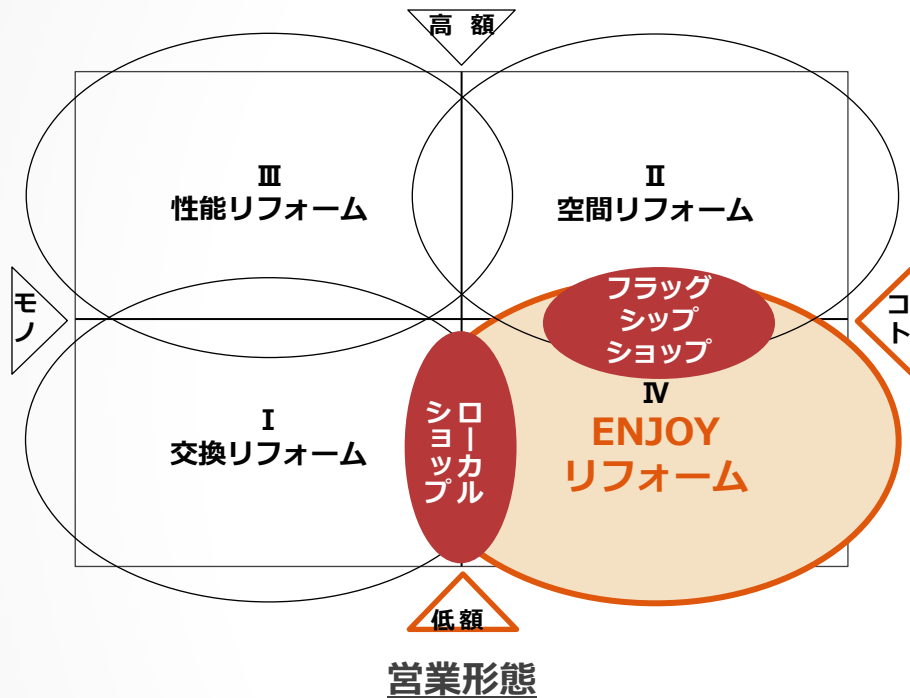


(万円,台)	17年3月期			16年3月期	17年3月期		16年3月期
	第1四半期 実績	第2四半期 実績	上期 実績	上期 実績	上期 計画	通期 計画	通期
売上高	9,600	10,600	20,200	11,506	24,598	62,600	28,499
施工台数	1,900	2,146	4,046	1,924	4,730	11,600	5,125

(3) ジャパン建材(株)の新たな取り組み (リフォームDEPOT)

2015年4月より新たにリフォーム推進課が発足し、販売店様のリフォーム事業拡大に向けてVC(ボランタリーチェーン)形態のショールーム作りを行っている。
現在は全国に12店舗のショールームがあり、2020年までには50店舗を目標に拡大していく。

リフォーム業界での位置づけ及び2つのビジネスモデル



RD-VC

※Reform Depot - Voluntary Chain

- 1.本部と加盟店が**一対一の契約**で成立
- 2.加盟店同士の**横のつながりが可能**
- 3.原則**テリトリー**を定め、地域密着とする
- 4.事業者の**独立性を維持**しながら、必要性の高いマニュアルを中心とした展開を推奨する
- 5.独立した**店舗経営者**として遂行
- 6.取扱アイテムなどの**制限は受けない**

商圈

<リフォームのマーケットサイズより商圈シェアの目標値を設定> ※弊社独自の考え

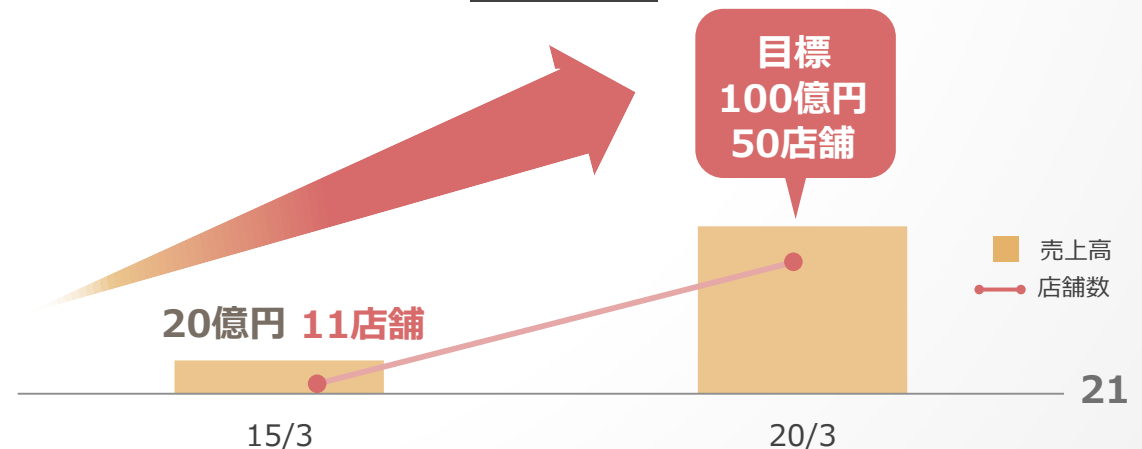
- ・住宅リフォーム (設備の維持修繕費)
- ・当事業の出店戦略 商圈人口**20万人~30万人**に1店舗
(店舗プロット規則【半径20キロ】とします)

- ①消費エリアとしての的確なサイズ
- ②消費者の行動範囲を考える=移動距離的な問題=遠いほどマイナス
⇒注力商圈範囲半径3キロ
- ③地域性が重要=地域密着=口コミの範囲=地域での安心感
- ④販売店様の業態変化にマッチした商圈ボリューム

目標:リフォームDEPOTは、**地域リフォームシェアの3%~5%**を狙う。
(店舗規模・配置人数など考慮)

シェア (建築業界)	区分	店舗規模	商圈人口 20万人	商圈人口 30万人
7%	圧倒的トップシェア	100坪以上	5億円/年	7億円/年
5%	地域No.1シェア	70~100坪程度	4億円/年	5億円/年
3%	地域トップクラスのシェア	50~80坪程度	2億円/年	3億円/年
1%	存在シェア	40~60坪程度	8千万円/年	1億円/年

今後の展望



第10回キッズデザイン賞 最優秀賞 内閣総理大臣賞 受賞

(株)キーテックのキーラムメガビーム（以下KMB）が採用された東京ゆりかご幼稚園が第10回キッズデザイン賞の最優秀賞を受賞しました。

垂木として使用されているKMBは大空間を構成し、また、今回の受賞にあたり評価された100mの「えんがわ」をつくるための長い跳ね出しを実現することができる材料です。竣工から3年経ちますが、今も多くの見学者が訪れる魅力的な建物です。

里山風景になじむ木造平屋の建物は、広い開口部と深い庇によって開放的かつ自然とつながる空間となり、自然換気によってエネルギー消費を抑えた快適な環境をつくりだします。

活動内容、地域と地理、建築のすべてが高次元で融合した、懐かしくも新しい教育のあり方は、キッズデザインの理念を示すにふさわしいと考え、最優秀賞とされました。

東京ゆりかご幼稚園



授賞式の様子



キーラムメガビームとは・・・

高い曲げ剛性を持ち、配管やダクトの孔あけが可能なI形・BOX形のLVLの合わせ梁です。12mまでのロングスパンで床や屋根をとばすことができ、住宅や中大規模の木構造の大空間を構成します。

BOX形



I形



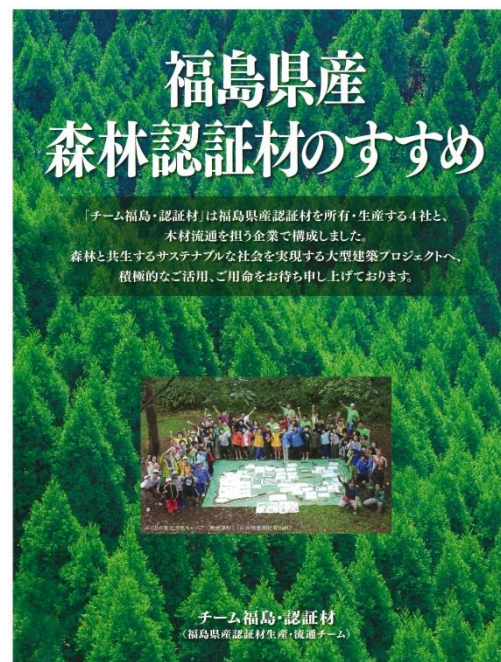
福島県産認証材の取り組み

物林(株)は、東日本大震災直後より復興事業を継続的に進めてきた関係から福島県産森林認証材の2020年東京オリンピック・パラリンピック関連施設の木造化・木質化への設計折込に向けた活動をしております。

また、JKホールディングス(株)が活動を応援する公益財団法人PHOENIX「木材・合板博物館」では、福島県郡山市にて森林認証材の国際競技施設への活用に向けたセミナーを開催。オリンピック組織委員会から持続可能性に配慮した木材を調達基準とすることが示されたことや、福島県でも東日本大震災による放射能被害により木材に風評の影響があることから、これを機に林業再生を行う活動を推進しております。

JKグループは、今後も東北復興支援を継続していきます。

パンフレット



セミナーの様子





スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co.,Ltd.